

令和7年度 南風原町商工会
地域経済動向調査レポート

1. 調査概要

【調査対象】 町内小規模事業者

【調査方法】 調査票によるアンケート形式

【実施日】 令和7年12月

【回答件数】 15件

【回答事業者の業種内訳】

業種	回答数
建設業	2事業所
小売業	5事業所
サービス業	6事業所
製造業	2事業所
合計	15事業所

2. 調査結果を踏まえた考察

南風原町内の事業況は、売上高が回復基調にある一方、収益性が低下しており、増収減益の状況が明らかになった。今回の調査では、約73%の事業者が売上増加を報告しているものの、採算面で黒字を確保できているのはわずか20%に留まっている。

この理由として、仕入原価および諸経費が「増加」したとする回答が多数を占めており、特に製造業や建設業、小売業において原材料価格の高騰により減益となっている。サービス業においては人件費の増加が負担となっている傾向となっている。

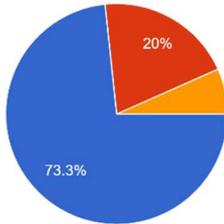
経営上の問題点として、多くの業種で「原材料価格の上昇」や「人件費の増加」が上位に挙げられている。また、サービス業を中心に「利用者ニーズへの対応」といった課題も浮き彫りになっており、単なるコスト削減だけでは解決できない複雑な状況となっている。

今後の展望として、資金繰りが「悪化」している事業者は約20%存在するなど、小規模事業者の経営基盤には依然として脆さが残る。商工会としては、コスト上昇分を適正に価格転嫁するための支援とともに、人手不足に対応するための生産性向上、および事業継続に向けた伴走型の資金繰り支援をより一層強化していく必要がある。

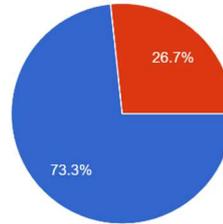
3. 調査結果

売上・仕入・経費の変動

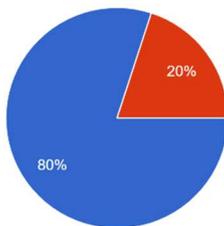
今期の売上
15件の回答



仕入原価
15件の回答



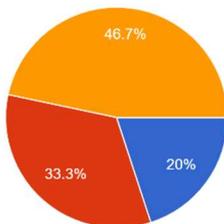
経費
15件の回答



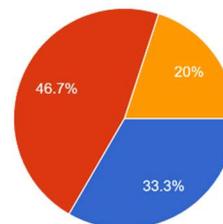
- 今年度の売上は「増加」と答えた事業者が 73.3%
- 仕入原価が「増加」と答えた事業者が 73.3%
- 経費が「増加」と答えた事業所が 80%

採算（粗利）・資金繰り

採算（粗利）
15件の回答



資金繰り
15件の回答

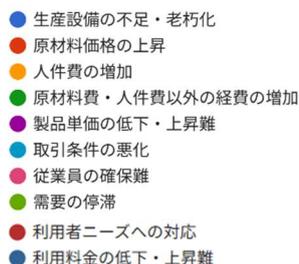
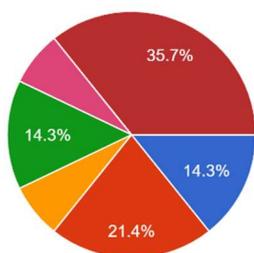


- 採算（粗利）：黒字 20%、赤字 46.7%、収支トントン 33.3%
- 資金繰りの状況：好転 33.3%、悪化 20%、不変 46.7%

経営上の問題点

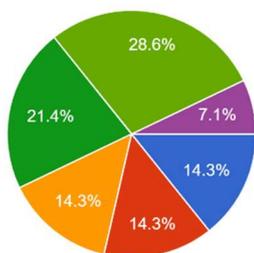
経営上の問題点（1位）

14件の回答



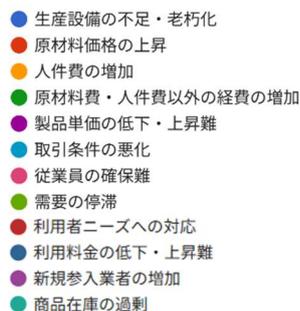
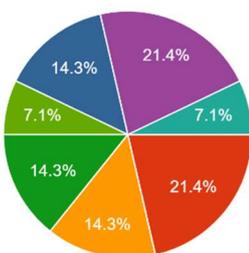
経営上の問題点（2位）

14件の回答



経営上の問題点（3位）

14件の回答



■ 経営上の問題点

業種を問わず、コスト面と外部環境の変化が経営を圧迫している。

1. コスト増の継続: 「原材料価格の上昇」および「人件費の増加」が全業種の共通課題である。
2. 市場環境への対応: サービス業では「利用者ニーズへの対応」が、小売業では「需要の停滞」が主要な問題として認識されている。
3. インフラ・設備: 製造業を中心に「生産設備の不足・老朽化」が事業継続の課題。